

自立支援介護・ パワーリハ通信 2018年創刊号

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。
日頃の学会活動へのご協力にこの場をお借りしまして
心より感謝申し上げます。

ところで、昨年12月に平成30年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の改定率が決定し、介護報酬は0.54%引き上げられることになりました。実に9年ぶりのプラス改定であります。また、介護保険制度の改正においては、自立支援介護が大きく取り上げられ、より質の高い自立支援介護が求められ、今年は、当学会において更なる飛躍の年になると思われまます。それに伴い、学会を取り巻く環境も急変しつつあり、その動向を会員の皆様にお伝えすべく、この度、不定期ではありますがこのようなお便りをお届けすることになりました。学会におけるその時々トピックスを随時お知らせして参ります。末永くご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。



1.トピックス

アジア健康構想における進捗状況

昨年の学会でも報告がありました内閣官房健康・医療戦略室が推進するアジア健康構想ですが、これに基づいて官民が連携し、介護システムの輸出を柱に様々な取り組みが行われております。当学会では、自立支援介護の知識と技術の普及を目的に、介護職員の人材教育を担っております。国内では、自立支援介護を教授できる「自立支援介護講師」の認定を行っております。

海外では、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)からの技能実習生の送り出し機関に、当学会から講師を派遣します。自立支援介護の教育を受けた技能実習生達が秋以降には第一陣で来日致します。また、中国の成都市にある介護施設に講師派遣を予定しております。この事業が順調に進みますと、今年の秋以降にはベトナムからの研修生を当学会の関連施設で受け入れ研修を行うこととなります。続報をお待ちください。

2.お知らせ

自立支援介護実践研修会について

昨年の秋に開催し好評を博しておりますWeb利用による「自立支援介護研修」についてお知らせします。この研修会は、高齢者の「身体的」かつ「社会的」自立支援を達成し改善また維持するための介護技術法を学び、各々が理論的にケアを実践できることを目的としています。インターネットによる双方向Web利用の会議システムを採用していますので、講師や他事業所の参加者とリアルタイムに意見交換を行いながら事例検討ができます。また施設事業所に居ながら何人でも参加でき、当学会の法人会員または施設会員のみが受講できる研修会(新潟県においては新潟県老人福祉施設協議会会員も受講可能)です。

会員様からのご要望にお応えすべく4月から研修会の規模を拡大して行うこととなりました。4月から始まる介護保険改正におけるインセンティブの付与を受けるためには、自立支援介護の理論を学ぶことが近道と思われまます。興味のある方は、同封のチラシをご覧ください。



Japan Society of Functional Recovery Care
and Power Rehabilitation

文責 / お問い合わせ先

一般社団法人

日本自立支援介護・パワーリハ学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 森山ビル東館5階 <https://jsfrc-powerreha.jp/>